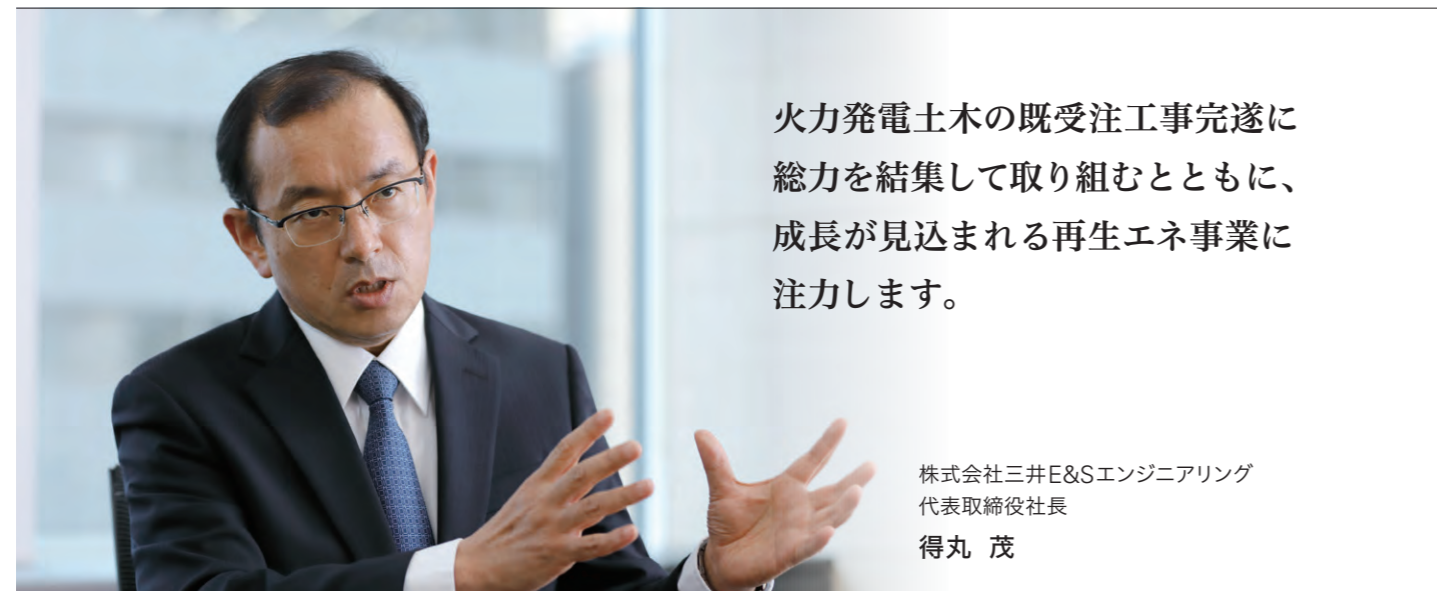


# エンジニアリング



火力発電土木の既受注工事完遂に総力を結集して取り組むとともに、成長が見込まれる再生エネ事業に注力します。

株式会社三井E&Sエンジニアリング  
代表取締役社長  
得丸 茂

**[環境認識と課題]**

海外EPCプロジェクトのリスクが増大するなか、海外案件の採算管理体制の脆弱さが露呈し、既受注工事の採算が悪化する結果となりました。

**[機会と当社の強み]**

アジアを中心に再生可能エネルギー市場が伸長しており、エネルギーエンジニアリング(海洋 FPSO・ガスビジネス等)需要が高まっています。当社が持つ自然エネルギー分野での技術・ノウハウを生かしていきます。

## 事業環境と業績

再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)による買取価格は下落傾向にありますが、環境・エネルギー分野については、2017年9月に市原バイオマス発電所の建設工事を受注し、建設工事を遂行中です。

海外インフラ分野については、東南アジアで恒常的な電力不足が喫緊の課題となっていますが、すでに受注しているインドネシア共和国向けの火力発電所土木建築工事において、大幅な損失を計上しました。そこで、この損失の最小化に努めるとともに、インドネシアおよびベトナムで遂行中の他の火力発電所土木建築工事と併せ、確実な工事遂行に注力するため、同種の新規受注を停止しました。

石油化学分野については、原油価格の回復基調により海外、国内共に市況は回復傾向にありますが、当社グループにおいては受注戦略の見直しにより、海外化学プラント分野での現地工事を含む案件の受注を控えました。

こうしたなか、当年度の受注高は、バイオマスおよび風力発電案件の期ズレや海外化学プラント案件の新規受注を控えた影響等から前年度と比べて165億円減少(△21.9%)の589億円となりました。売上高は前年度に石油化学プラント大型工事が完成していること等から、586億円減少(△46.0%)の690億円となりました。営業損失はインドネシア共和国向けの火力発電所土木建築工事での大幅な損失計上等により、638億円悪化の797億円となりました。

## 事業再生計画

エンジニアリング事業においては、建設コストの上昇に加え、熟練労働者の不足が深刻化しているなかで、海外での化学プラントや火力発電土木の事業リスクが高まっており、このまま受注活動を継続することが困難な状況となっています。

そこで、このたび大幅な損失の発生した火力発電土木事業に関しては、既受注工事を確実に完遂し損失を最小化するため、エンジニアリング事業会社社長直轄下に置く一方、環境・プラント・再生可能エネルギー事業は、全てグループ内企業に事業移管することを決定しました。そしてエンジニアリング事業会社自体は、グループ外企業との協業を視野に入れた子会社の運営管理と既受注工事の完遂に注力する体制とします。また、火力発電土木事業の新規受注は行わず、既受注工事完工後は同事業から撤退し、そのリソースを成長が見込める再生可能エネルギー事業や社会インフラ事業に再配置します。

化学プラント事業についても、海外での現地工事からは撤退しました。さらに、事業会社と子会社に分散した化学プラント・環境リサイクルのリソースを集約し、技術力の融合・強化を図ります。具体的には、化学プラント関連のリソースを三井E&Sプラントエンジニアリング(MPE)に、環境リサイクル・バイオガス関連のリソースを三井E&S環境エンジニアリング(MKE)に集約しました。

今後の注力領域である再生可能エネルギー事業においては、バイオマス発電事業をデンマーク子会社のBurmeister & Wain Scandinavian Contractor A/S(BWSC)に集約し、日本国内では同社子会社のBWSC Japan Ltd.との協業を強化することにより、将来的には東南アジアへ市場を拡げていく計画です。加えて、風力発電事業を含む社会インフラ事業のリソースを集約して新インフラ会社を設立するとともに、競争力強化・事業拡大のためグループ外企業との協業を推進します。

## TOPICS

### 印南風力発電所引き渡し



2018年5月に、和歌山県日高郡印南町で建設を進めていた印南(いなみ)風力発電株式会社向け風力発電所の引き渡しを行いました。本発電所は、2016年1月より約29カ月(約2年5カ月)を要して建設したもので、約27.2ヘクタールのエリアに2,000kW型風車を13基設置。風車の設置にあたり、中山間地区の自然環境に配

慮するとともに、自然災害対策を考慮し地元との共生を目指した設計および建設に努めました。

**〈印南風力発電所の概要〉**

- ・発電所所在地 和歌山県日高郡印南町ほか
- ・発電容量 26,000 kW(2,000 kW×13基)

